

マタイ 39

聖書が求める 柔和と謙遜とは？

マタイ福音書15章21～28節

ツロ・シドンの女の信仰

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. ツロ・シドンの歴史

II. ツロの女の信仰 15:21～28

III. まとめと適用

ツロの女の信仰に学ぶ

柔和と謙遜



レバノン杉



0. イントロダクション

カペナウムの再現図

メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル
(指導者)

ベルゼブル論争

安息日論争
メシア的奇跡
宣教開始
弟子の召命
荒野の誘惑
バプテスマ

最後の晩餐
エルサレム入城
最後の弟子訓練
山上の変容
ペトロの信仰告白
五千人の食事
たとえ話

紀元70年
エルサレム陥落

メシアの活動は、弟子訓練に移行!!

- 主イエスは、教会の礎を築き始められている
 - ➡ 訓練された使徒たちが、教会の土台に!!
- 教えと奇跡も、弟子たちの訓練のために実行。
 - ➡ 弟子たちだけに解説される、**たとえ話**
 - ➡ 弟子たちの前で実行される、**奇跡**
- ガリラヤの領主ヘロデと、エルサレムの宗教権威者に命を狙われ、イエスは、北方のツロ、シドンへ…



I. ツロ、シドンの歴史

わずかに残るレバノン杉の森

ツロ、シドンとは？

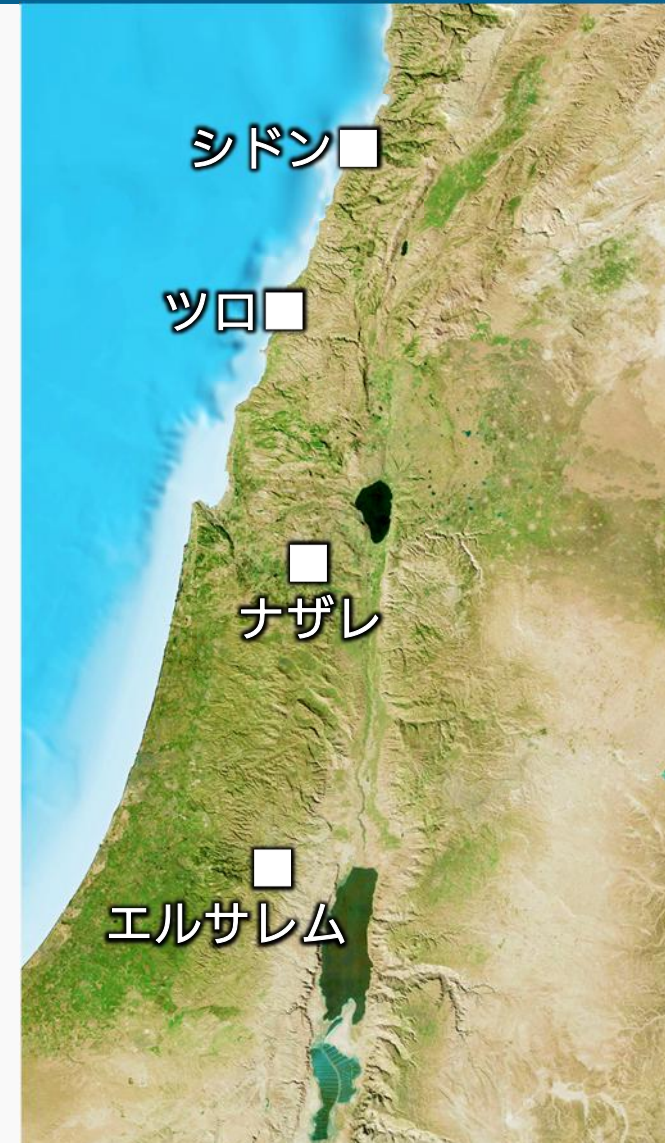
■ イスラエルの北にある町。地域。
長年、シドン人が支配。

■ シドン人は、フェニキア人の一部。
➡ セム系。海洋民族。

地中海沿岸各地に都市を建設。

海上貿易で繁栄。優れた文明を持つ。

アルファベットの元を作った。



嗣業の地 ツロの町 ヨシュア19:29

その境界線はラマの方に戻り、城壁のある町**ツロ**に至る。それから境界線はホサの方に戻る。その終わりは海である。

■ 12部族に分配された、約束の地。

➡ その北西端にあったシドン人の町が**ツロ**

■ アブラハムへの主の約束では、

ツロも、約束された土地の一部。

➡ イスラエルの領土にはならず



王国時代 ツロの王 II サム5:11

ツロの王ヒラムは、ダビデのもとに使者と、杉材、木工、石工を送った。彼らはダビデのために王宮を建てた。

■ ツロの王ヒラムは、ダビデの盟友。
ダビデの王宮の建築資材を提供。



現在のレバノン国旗
レバノン杉が中心に



レバノン杉


王国時代 ヒラムの信仰 | 列王5:7

ヒラムはソロモンの申し出を聞いて、大いに喜んで言った。「今日、【主】がほめたたえられますように。主は、この大いなる民を治める、知恵のある子をダビデにお与えになった」

■ ヒラム王は、主を恐れる異邦人?!

ソロモンの神殿建設に積極的に協力。

➡ 貴重なレバノン杉、木工、石工
(派遣された職人の長フラムは、
ダン族の母、ツロ人の父を持つ)



周辺諸国の王で
ヒラム王ほどの
信仰者はなかった

王国時代 シドンのやもめ Ⅰ 列王17：7～9

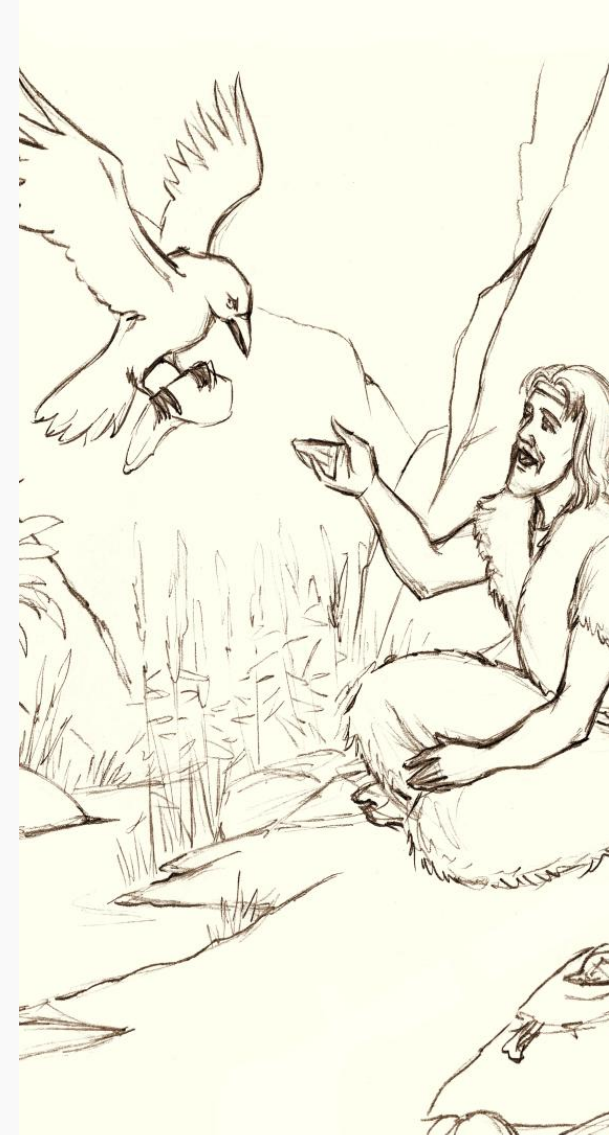
しかし、しばらくすると、その川が涸れた。その地方に雨が降らなかったからである。

すると、彼に次のような【主】のことばがあった。

「さあ、シドンのツアレファテに行き、そこに住め。見よ。わたしはそこの一人のやもめに命じて、あなたを養うようにしている。」

■ 偶像礼拝の罪への裁きを受けたイスラエル。

エリヤが逃れたのが、ツアレファテのやもめ。



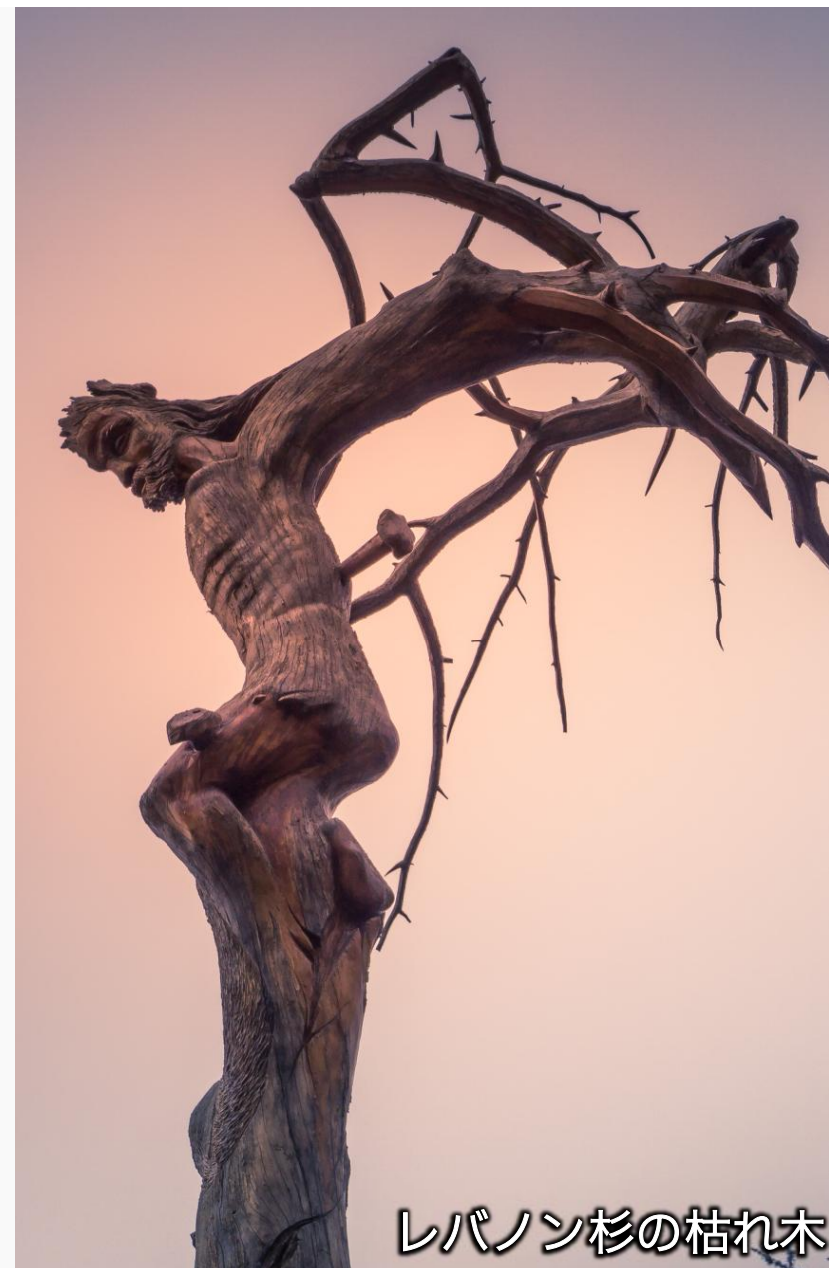
イスラエルの預言者エリヤを養った、シドンのやもめ

捕囚 バビロニアの侵略 イザ23:1～2

ツロについての宣告。タルシシュの船よ、泣き叫べ。ツロは荒らされて家もなく、そこには入れない。キティムの地から、それは彼らに示される。

海辺の住民よ、黙れ。海を渡るシドンの商人はおまえを富ませた。

■ ツロ、シドンも、バビロニアの支配下に。
ペルシアによって解放、海洋貿易で繁栄。



レバノン杉の枯れ木

捕囚後 第二神殿建設 エズラ3:7

彼らは石切り工や大工には金を与え、**シドン**と**ツロ**の人々には食べ物や飲み物や油を与えた。それはペルシアの王キュロスが与えた許可によって、レバノンから海路、ヤッファに杉材を運んでもらうためであった。

■ 捕囚から解放後、第二神殿建築時も、シドン、ツロから杉材が輸入された。



レバノン杉の古木

中間時代 ツロの哀歌 エゼ27:34～36

おまえが海で打ち破られ、おまえの商品とおまえの全集団が、おまえとともに海の深みに沈むとき、島々の住民はみな、おまえのことで啞然とし、その王たちはおぞ気立ち、慌てふためく。

国々の民の商人たちはおまえを嘲り、おまえは恐怖のもととなり、とこしえに消え去る。

■ フェニキア人は、第三次ポエニ戦争(BC149)でローマに敗北。中心都市のカルタゴが破壊。

➡ 地中海各地の都市も衰退。歴史から消失。
ツロ、シドンもローマの完全な支配下に。



栄華も消え失せ
歴史の闇の中に



II. ツロの女の信仰

マタイ福音書15:21～28

ツロ・ローマの遺跡

本編

ツロ、シドンへ マタイ15:21

イエスはそこを去ってツロとシドンの地方に退かれた。

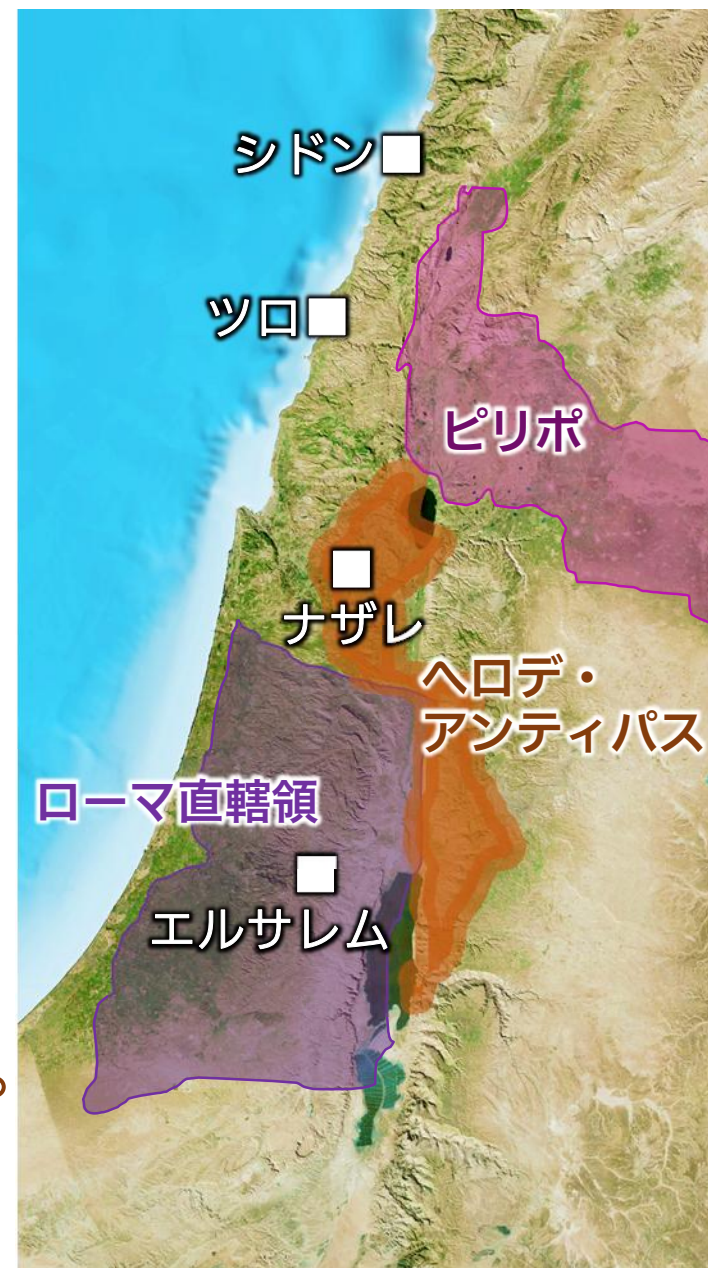
■ ガリラヤの領主ヘロデとエルサレムの宗教指導者の手を逃れて、異邦人の地へ。

(アブラハムへの約束の地の一部ではある)

■ ツロとシドンも、ローマの支配下。

ローマ風の都市が建築。海上貿易の拠点

「家に入って、だれにも知られたくないと思っておられたが、隠れていることはできなかった。
マルコ7:24」



本編

異邦人の女 マタイ15:22a

すると見よ。その地方のカナン人*の女が出て来て、

＊広い意味で約束の地の先住民の総称
カナン➡墮落した民、ユダヤ人は蔑視
「ギリシア人で、シリア・フェニキアの生まれ(マルコ7:26)」

➡まさにツロ・シドンの末裔!!

「すぐにイエスのことを聞き(マル7:25)」

➡ツロでも瞬く間にイエスの噂が!!



本編 女の嘆願 マタイ15:22

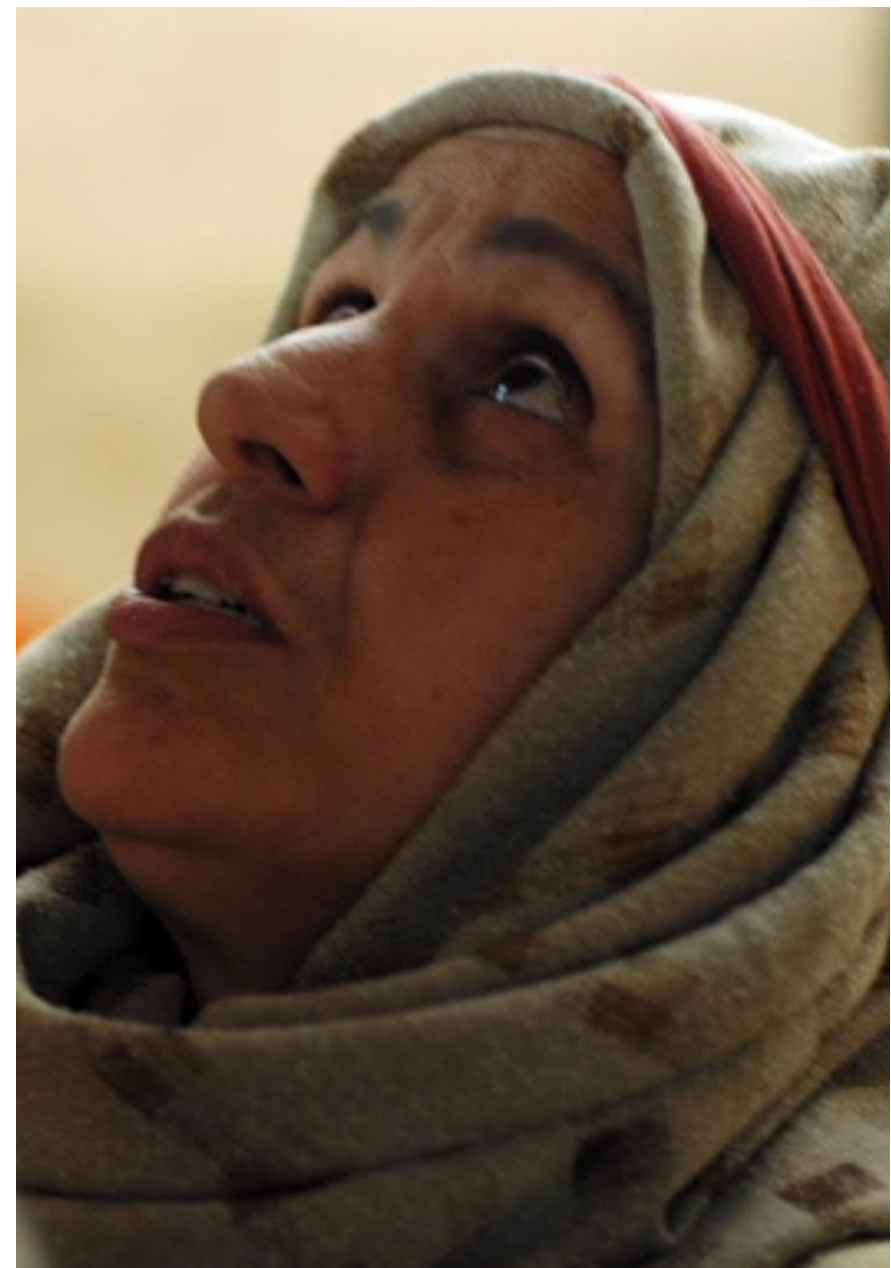
「主よ、**ダビデの子よ***。私をあわれんでください。娘が悪霊につかれて、ひどく苦しんでいます」と言って叫び続けた。

＊メシアの呼称

➡イエスをイスラエルのメシアと理解

■主を恐れる異邦人だった！！

ツロにもユダヤ人の会堂はあったろう。



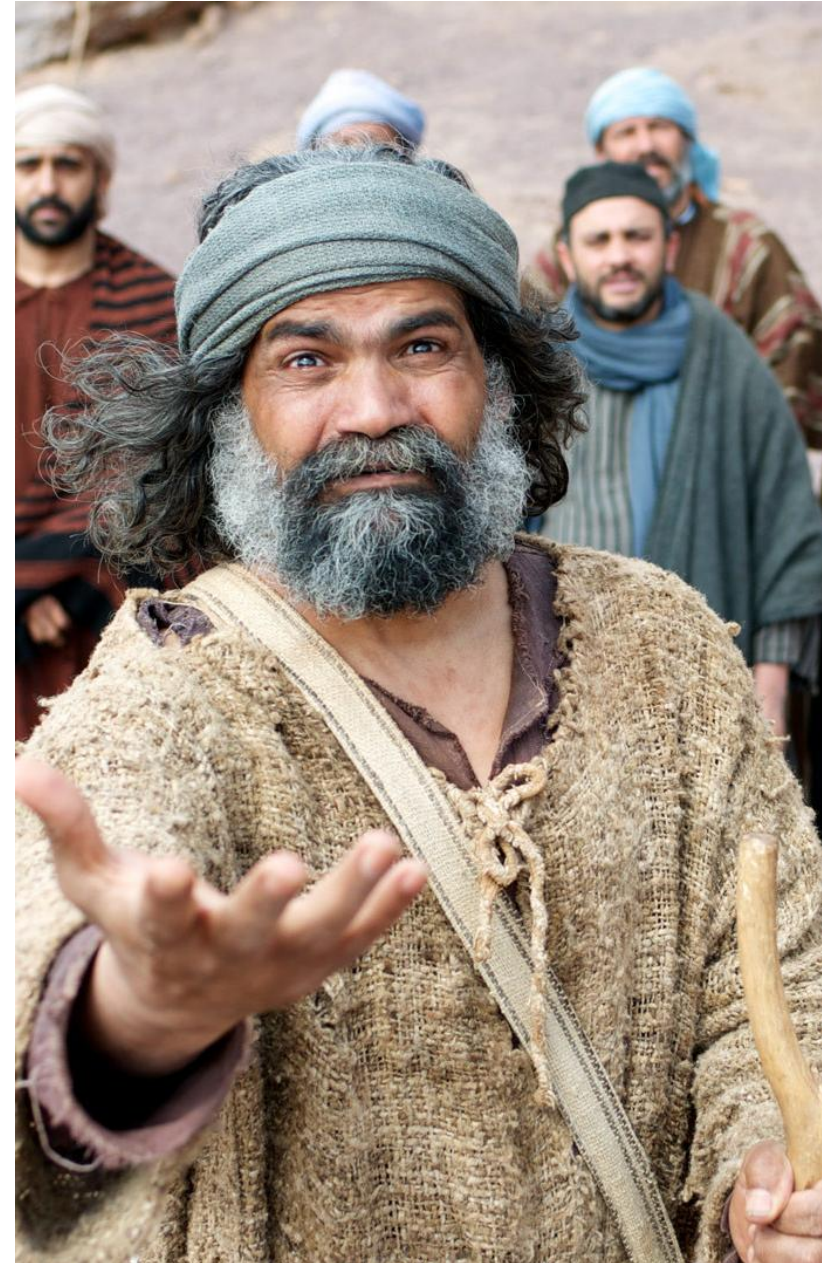
本編 弟子たちの訴え マタイ15:23

しかし、イエスは彼女に一言もお答えにならなかった。弟子たちはみもとに来て、イエスに願った。「あの女を去らせてください。後について来て叫んでいます。」

■ 弟子たちもうんざり!?

イエスに無視されても、
必死に求め続けた女の信仰。

「マタ 7:7 求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見出します。たたきなさい。そうすれば開かれます」



本編 メシアの使命 マタイ15:24

イエスは答えられた。「わたしは、**イスラエルの家の失われた羊たち***以外のところには、遣わされていません」

■ 12使徒の派遣時のイエスの命令
「異邦人の道に行ってははいけません。
また、サマリア人の町に入ってははいけません。むしろ、**イスラエルの家の失われた羊たち***のところに行きなさい。
マタ10:5～6」



メシアは第一に、イスラエルに遣わされた

本編 ひれ伏す女 マタイ15:25

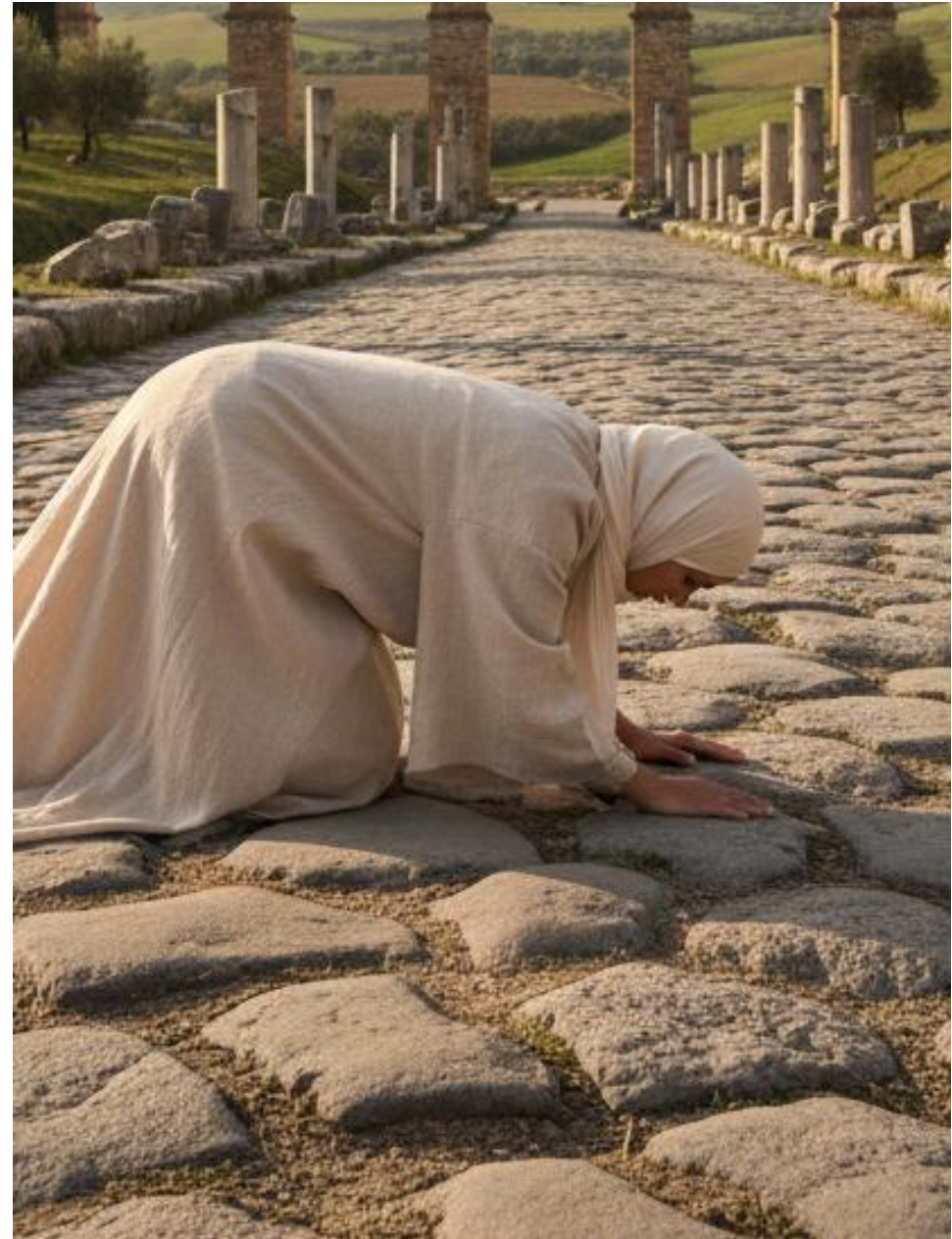
しかし彼女は来て、イエスの前にひれ伏して*言った。「主よ、私をお助けください*。」

*“礼拝する”と同じ言葉

*イエスは、娘を癒やすことができる。

メシアへの深い信頼の現れ。

■ 厳しい言葉に、何も言い返さず、
女は、主に、ただ憐れみを請うた。
取税人の罪人のように(ルカ18:13)



本編 イエスの答え マタイ15:26

すると、イエスは答えられた。「子どもたちのパンを取り上げて、**小犬***に投げてやるのは良くないことです。」

＊愛玩犬…ローマでは愛玩犬の文化が
イタリアン・グレイハウンド等➡

■ “子どもたち” = イスラエルの民

“小犬” = 異邦人



律法における “犬”

「出 22:31 あなたがたは、わたしにとって聖なる者でなければならない。野で獣にかみ裂かれたものの肉を食べてはならない。それは**犬**に投げ与えなければならない。」

「申23:18 いかなる誓願のためであっても、遊女の儲けや**犬**の稼ぎをあなたの神、【主】の家に携えて行ってはならない。これはどちらも、あなたの神、【主】が忌み嫌われるからである。」

■ 律法で、**犬**は、けがれたものの代表格。

例) 流れ矢で死に、遊女が身を洗う池で戦車を洗われ、
流れた血を犬になめられた、アハブ王(Ⅰ列王22:38)

“犬”呼ばわりは、明確に蔑称

■ 偽善者への警告の文脈でのイエスの警告 マタ7:6

「聖なるものを**犬**に与えてはいけません。また、真珠を豚の前に投げてはいけません。犬や豚はそれらを足で踏みつけ、向き直って、あなたがたをかみ裂くことになります。」

➡ 聞く気のない者に御言葉を与えてはならない

■ 子どもたち(イスラエル)に対応する形で、
小犬(異邦人)と呼ばれた?!

➡ “犬”が、蔑称であることには変わらない。

例) “豚”と“子豚”の差と同様?!

本編 謙遜と機知 マタイ15:27

しかし、彼女は言った。「主よ、**そのとおりです**。ただ、小犬でも主人の食卓から落ちるパン屑はいただきます。」

①主の言葉を受容し同意する、女の謙遜。

②へりくだった上で、

主の恵みの大きさを強調!!

「【主】を恐れることは知恵の訓戒。

謙遜は栄誉に先立つ。箴 15:33」



主へのおそれと謙遜が、この女性に機知を与えた!!

本編

娘の癒やし マタイ15:28

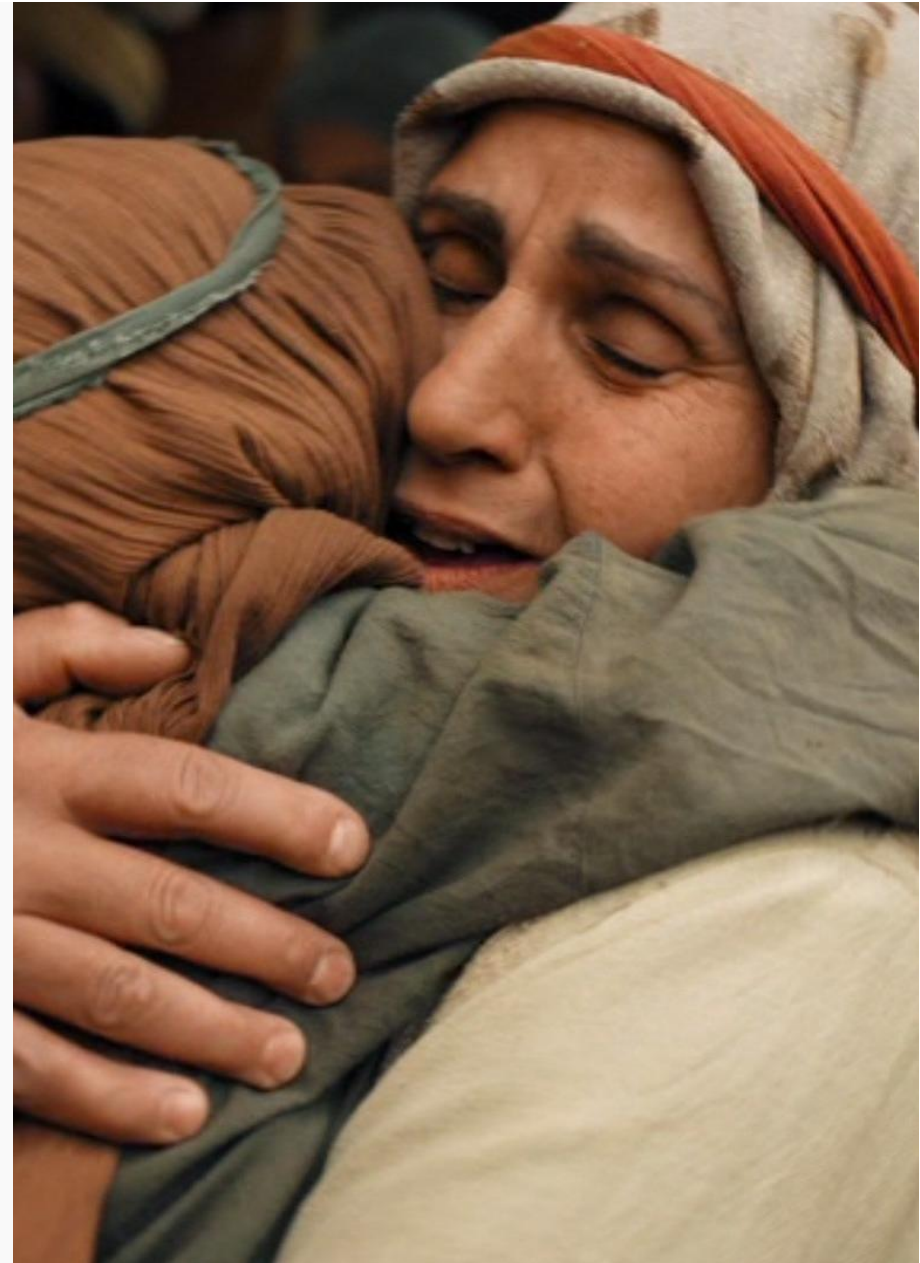
そのとき、イエスは彼女に答えられた。
「女の方、あなたの**信仰は立派**です。
あなたが願うとおりになるように。」
彼女の娘は、すぐに癒やされた。

■ 女は、立場も願うべきこともわきまえ、
謙遜に、主の目に適う信仰を示した。

■ 女の願いは、**主の願いと合致**。

➡ 娘は、即座に癒やされた

主の前に物理的障壁は存在しない





II. まとめと適用

ツロの女の信仰に学ぶ、柔和と謙遜

ツロ・シドンの海岸

ツロの女の示した信仰

- ① ナザレのイエスを、「ダビデの子」、**メシアだと信じた。**
- ② 娘の癒やしを必死に**求め続けた。**
- ③ メシアは、イスラエルにしか遣われていないという真理を受け止め、なお主を信頼し、**ただ憐れみを請うた。**
- ④ 柔和に謙遜に、**メシアの言葉を受け止めた。**
主の恵みを信頼し、**主の恵みの豊かさに訴えた。**

御言葉の正しい理解と 主への確かな信頼に 基づく信仰

ツロの女の信仰の背景には？

■ 連れねられてきた、主を恐れる異邦人の系譜。

…ツロの王ヒラム、ツアレファテのやもめ

■ 離散したユダヤ人の会堂に通っていた?!

➡ 主の言葉への的確な応答は、正しい知識があつてこそ。

■ 打ち砕かれ、試練で錬られた、柔和さと謙遜。

➡ 娘の病が女の信仰を磨くきっかけに?!

再確認

主イエスが求められる信仰の姿勢

■ 罪の重荷か、主のくびきか マタイ11:28～30

「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。

わたしは**心が柔和でへりくだっている**から、あなたがたも わたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。

わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。」

■ 柔和で謙遜な主にならい、主のくびきを負って主に学ぶ!!

主が求められる 柔和、へりくだりとは？

「柔和」とは？

■ AIの応答 (Gemini)

「やさしく、おだやかなさま。

とげとげしい所のない、ものやわらかな態度・様子。」

■ 「犬」呼ばわりが、柔和？

➡ 今の日本なら、SNSであっという間に大炎上!!

聖書の言う「柔和」は、日本的な「柔和」とは違う!!

「柔和」とは？ 主イエスの言葉を再確認!!

「わたしは心が柔和でへりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。マタイ11:29」

「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。マタイ16:24」

■主イエスが示された柔和と謙遜の極みが、十字架の死。

■私たちに求められる柔和と謙遜は？

➡自分の十字架を負って主に従うこと。主の御言葉への従順。

「柔和」とは、御言葉の教える主の権威と秩序への従順

聖書における、「柔和」の対義語は？

■主に言い逆らったイスラエル 出32:9

【主】はまた、モーセに言われた。

「わたしはこの民を見た。これは実に、**うなじを固くする民だ。**」

■イエスの復活を認めなかった使徒たち マルコ16:14

「その後イエスは、十一人が食卓に着いているところに現れ、
彼らの不信仰と頑なな心をお責めになった。」

■「柔和」の対義語は、「頑な」。主の御言葉への無理解、反発。

私の心は、主に對して「柔和」か？ それとも「頑な」か？

聖書における、「柔和」の対義語は？

■主に言い逆らったイスラエル 出32:9

【主】はまた、モーセに言われた。

「わたしはこの民を見た。これは実に、**うなじを固くする民だ。**」

■イエスの復活を認めなかった使徒たち マルコ16:14

「その後イエスは、十一人が食卓に着いているところに現れ、
彼らの不信仰と頑なな心をお責めになった。」

■「柔和」の対義語は、「頑な」。主の御言葉への無理解、反発。

私の心は、主に對して「柔和」か？ それとも「頑な」か？

主に喜ばれる礼拝を!!

■ 神の喜ばれる礼拝 ヘブル 12:28

「このように揺り動かされない御国を受けるのですから、私たちは感謝しようではありませんか。感謝しつつ、**敬虔と恐れ**をもって、神に喜ばれる礼拝をささげようではありませんか。」

■ **敬虔**もまた、主の前での**柔和**、**謙遜**な姿勢、態度。

■ 自分の思いや感情や、こだわりに捕らわれているだけで、御言葉に心を澄ませて聞いていないなら、なんの意味もない。それは礼拝にはなっていない。主イエス曰く、「豚に真珠」。

聖書の教える「柔和」

■ 主が求められる柔和とは、主への従順。
自分の思いや感情に流されず、人に左右されず、
謙遜に、ひたすら主の御言葉に聞き従って行くこと。

■ 世の人は、むしろ頑なだ、心が狭いと責めるだろう。

例)「キリストしか救いがないなんて!!」

「イスラエルが神の選びの民なんて!!」

主に「柔和」であることで、あなたは十字架を負うだろう

ツロの女の柔和と謙遜

① 柔和 …主の御言葉への徹底した従順
御言葉をよく学び、理解した上での「ダビデの子」。
主イエスの言葉も、まず聴いて、受け止めた。

② 謙遜 …主の優先順位を理解し、従った。
異邦人としての立場をわきまえた。

■ 主へのおそれに基づく柔和と謙遜が、御霊による知恵を与えた。

主への柔和と謙遜の結果、知恵ある応答に導かれた

教会時代の宣教の原則

■メシアの公生涯は、律法の時代

➡イエスは、イスラエルのメシアとして来られた
第一は、イスラエルへの布告と救い

■教会時代、律法の縛りはなくなり、異邦人伝道が解禁!!

➡それでも変わらない原則が

「福音は、まずユダヤ人、そしてギリシャ人(異邦人)へ」

(ロマ1:16)

柔和と謙遜をもって、異邦人信者の使命を受け止めよう

★ 異邦人信者としてツ口の女に学ぼう ★

■ 人は情に訴え、流されるが、ツ口の女は違っていた。
聖書を正しく理解し、主の選びと秩序を受け入れていた。
目の前のメシアの言葉を傾聴し、適切に応答した。

■ 主への柔和で謙遜な信仰が、聖霊を通して彼女を助けた。
主へのおそれがあり、主に与えられた知恵があった。
主のご計画と秩序をよく理解し、主の願いを知っていた。

柔和と謙遜をもって、主の御言葉に従って行こう!!

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

②墓に葬られ、

③三日目に復活されたこと、を信じます。

私たちの頑なさを、主が日々打ち砕いてください。

ツロの女のような柔和さと謙遜を 身に着けられますように。

私たちは、第一に、主の御言葉に心を傾け、聞き従います。

真の信仰者として主を礼拝します。主の使命に遣わしてください。

感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」